

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

FOMCを受けたドル売りも一時的な反応に留まり、昨日のドルレアルスポット相場は反転上昇。ドル買いレアル売りが再び優勢となり、次の節目となる3. 30台へ早々に到達した。FOMC参加者による政策金利見通しが大幅に下方修正されたことで、早期利上げ観測（「6月利上げ」から「9月利上げ」へ見通しを修正する動きが目立つ）が後退したもの、世界的な金融緩和環境の中で米国のみが利上げに向けて前進しているという状況に変化はないことから、ドルの買戻しが進行した。また、18日にブラジル労働省が公表した2月雇用者数が前月比2415人の純減となり、1999年以降で最も悪い水準となったこともレアル売りを誘発。労働市場の急速な悪化は景気後退懸念を加速させ、ルセフ政権にとってさらなる打撃となることが予想される。加えて、Gomes教育相が議員らとの対立により辞任し、政治的混迷が深まったことも投資家心理を圧迫している（ルセフ大統領は内閣改造観測を否定した）。Datafolhaが15日の大規模デモ後に実施した（3月16－17日）世論調査によると、ルセフ政権を「素晴らしい」「良い」と評価する国民の割合は前回の23%から13%へ低下しており、労働党政権への不満が急激に高まっていることが窺える。

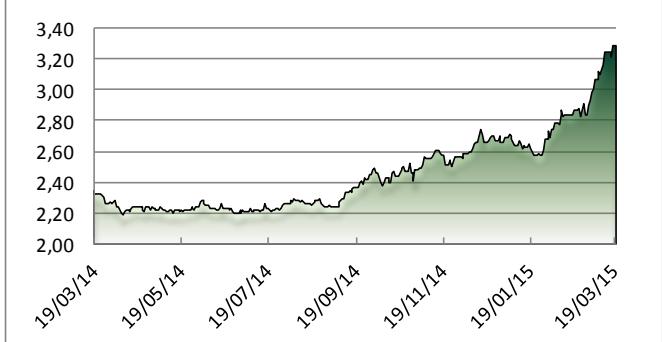
中銀のTombini総裁は18日に行った講演において、「レアル安や規制価格の上昇により、インフレ率は短期的には政府目標上限を上回るもの、この傾向は第1四半期に限定され、2016年にかけて4. 5%へ収斂されていく」との見通しを示した他、「介入プログラムの継続有無について来週発表する」と述べた。

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月18日	3月19日	前日比	2月19日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	37,41	36,71	-0,70	41,49	-4,78
USD / BRL Spot	BRL	3,2107	3,2919	+0,0812	2,8669	+0,4250
USD / JPY Spot	JPY	120,11	120,78	+0,67	118,95	+1,83
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	51.526	50.954	-572	51.294	-340
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	295,3	303,5	+8,2	235,5	+68,0
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,98	13,27	+0,29	12,81	+0,46
DI Future Apr16 (金利先物)	%	13,66	13,79	+0,13	13,25	+0,54
3 Months US Dollar Libor	%	0,270	0,270	+0,000	0,262	+0,008
CRB Index (国際商品指数)	Index	212,0	211,0	-1,0	226,3	-15,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

